



# ほんごう

## 芸術の秋

校長 中嶋 浩一

暑い、暑いと言っていたのがつい昨日のことのような気もしますが、気が付くとあちこちに秋の気配を感じるようになりました。朝晩、肌寒さを感じたり、日が暮れるのも日ごとに早くなったりしてきているようです。季節の移ろいを感じる今日この頃です。

さて、秋というと「〇〇の秋」とよく言われます。秋は過ごしやすい気候で何をやるのにも適しているということからでしょうか。皆さんは〇〇に何を入れますか？少し前のデータですが、大学生に聞いたランキングでは ①食欲 ②読書 ③スポーツ ④睡眠 ⑤芸術 という結果になったそうです。私は「芸術の秋」といきたいところです。え？食欲じゃないの？残念でした、食欲はいつもです…。芸術といってもいろいろあります。美術や音楽に映画、演劇、舞踊なども含まれますね。自分の思いを表現すること、そして、それを鑑賞することももちろん芸術になります。

私自身、音楽や演劇に夢中になったこともありましたが、美術という点では、小さい頃から不器用で、絵を描いたり、造形したりということが苦手でした。嫌いということではないのですが、何を描いても自分のイメージとは違うものになったり、何を作ってもいびつな形や不細工な仕上がりになったりで、どうも楽しくない。その結果、小学校の図工や中学校の美術は悲惨な成績だったのを覚えています。当時はどれだけうまい絵が描けるか、どれだけ手際よく作品ができるか、という観点での評価が中心だったように思います。でも、美術ってそれだけではないですよ。制作の過程を楽しんだり、自分なりの表現を試みたり、鑑賞することを楽しんで、そこから考えたり学んだり…今思えば、そういう力も大切なんじゃないかと思います。

現行の学習指導要領では知識・技能とともに思考力・判断力・表現力等、さらに学びに向かう力、人間性まで含めて「新しい時代に必要となる資質、能力」としてその育成をねらいとしています。一面的なスキルや知識だけでなく生涯にわたって生き続ける大切な力を身につけていくことを求められているということで、それは日頃の指導支援において学校として意識していかなければならないものと考えます。

幼少期に苦戦した私も、最近は美術館巡りが趣味になって、多くの美術作品に触れ、その素晴らしさを堪能できるようになりました。今年の芸術の秋も楽しみたいものです。



校内の  
芸術作品たち



## 中期学校経営方針の紹介

本校の中期学校経営方針の具体的取組について、ご説明いたします。今年度も11月下旬～12月初旬には、中期学校経営方針の取組について保護者の皆様に「学校教育活動アンケート」を実施する予定です。ご協力をお願いします。今回は9つの重点取組分野の中から6つの分野を紹介し、3つの分野「いじめへの対応」「安全管理」「地域学校協働活動」については次号の学校便り（11月発行）で紹介します。

<b>確かな学力</b>		①カリマネ会議を定期的実施し、各学部、学年において児童生徒の実態把握や情報共有、授業の評価改善を行い、指導の充実を図る。②学習活動の充実を図るため、ICT教育について実態に応じた指導内容を検討する。タブレット端末について活動実践を共有するとともに、ICT活用に関する研修の企画、運営を行う。
担当	教育課程推進部、 教育研究部	

- ①今年度より、個別の指導計画の表紙と総合所見を新書式で作成しました。また、個別の指導計画や教育支援計画の作成アンケートの配布時期も改め、保護者の皆様のご協力をいただき、スムーズな作成、面談、充実した指導・支援へとつなげることができました。各学部で、教科、領域の振り返りを行うカリマネ会議を定期的設けました。今後は授業改善のポイントを共有することで、より効果的な振り返りにつなげていくことを目指していきます。
- ②「ICT機器を活用した教育の検討」を研究テーマとして、教職員それぞれがさまざまな場面で活用している機能やアプリについて情報収集を行いました。各教職員がICTをより有効活用できるように収集した機能やアプリをデータ上で整理・分類しました。また、各教職員が作成した教材を集約し、工夫点や良い点を共有し合い、日々の生活や授業で活用してより良い指導が行われるよう、「教材を見合う研修」を実施しました。コロナ禍のため、データ上で共有できるよう工夫して実施しています。

<b>交流教育</b>		①小学部と中学部において副学籍交流が円滑にすすむよう、取りまとめを行っていく。②学校間交流に関しては、より実りある内容となるよう各学部、相手校と連携し、計画的・継続的な取組となるよう協議しながらすすめていく。
担当	人権・交流教育部	

- ①【副学籍交流】横浜市立特別支援学校の小・中学部児童生徒は、居住地の小学校や中学校に行き一緒に学習することができます。授業や行事などに参加して交流することで、地域社会との距離がより近いものとなることをめざしています。今年度は、小学部中学部合わせて21名の交流希望がありました。
- ②【学校間交流】近隣の学校との交流をしています。小学部は本郷台小学校の2～6年生、本郷小学校個別支援学級と交流しています。本郷台小学校低学年は本校に来て一緒にゲーム等を通してふれあいます。高学年は、本郷台小学校児童が考えてくれた活動を行い、交流を深めます。本郷小学校と本校で学年ごとに大型トランポリンの体育の授業等で交流をしています。中学部は本郷中学校と交流しています。連絡を密にとりながら、集会や行事などを一緒に行っています。高等部は、横浜栄高校との交流を進めています。本校でチアダンス部の素敵なパフォーマンスを見せてもらったり一緒に踊ったりしています。

※今年度は、新型コロナウイルス感染症対策ということから①、②ともに中止が多いですが、児童生徒の実態に応じて感染対策を行いながら直接交流を行ったり、間接的な交流（絵や手紙、歌、動画など）を行ったりしていく予定です。

<b>健やかな体</b>		①一人ひとりの子どもの実態に合わせた「体力づくり」に取り組む。②健康状態の把握に努め、嘔吐物処理研修や手洗い等の励行を行い、感染症の予防や拡大防止に取り組む。③給食だよりやぱくぱく通信、献立表で健康に良い食事や食育についての情報提供をし、食育にかかわる行事を行い、取組の様子を伝える。
担当	体育指導部、 保健部、給食部	

- ①今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、心肺機能の向上を目指し、児童・生徒の実態に合わせて時間や距離を設定しての歩行やランニング等の有酸素運動に継続的に取り組んでいます。また、転倒等による怪我の予防を目指し、安定した歩行や走行を身につけるために、各種機材や体育館等の施設を用途に合わせて使い分け、筋力の保持増進に取り組んでいます。
- ②新型コロナウイルスなど様々な感染症に関して、予防や拡大防止に引き続き取り組みます。放課後の校内消毒、また職員向けに嘔吐物処理研修の実施、「手洗いプロジェクト」を通しての手洗いの励行を行います。熱中症予防のための取り組みとしては、運動指針の判断基準の掲示物を作成したり、お昼に屋外のコンディション放送を行ったりして、注意、呼びかけに努めています。
- ③給食だよりやぱくぱく通信、献立表を通して、食にかかわる行事や給食の様子、健康を保つ食事や栄養などの情報を紹介しています。また今年度は食育の一環として、食材体験、校内産物の利用、図書部との連携行事に取り組んでいます。

<b>地域連携</b>		①配布物で近隣地域のイベントについて発信したり、掲示板で放課後等デイサービスや事業所について紹介したりする。また、潮干狩り・手作り作品展・屋上プール開放・イベントでの作業班の作品販売を行う。②学校施設開放(校庭・体育館)を行い、利用団体の余暇活動に貢献する。
担当	地域支援部	

- ①地域支援部では、地域支援ニュースを不定期に発行して、近隣施設で開催予定のイベントや保護者の方に役立ちそうな情報などを発信しています。中高等部の昇降口近くの掲示板には、近隣イベントのお知らせ・新たに開設された放課後等デイサービスのパンフレット・各事業所からのお便りなどを毎月掲示しています。また、本校のホームページでは、潮干狩り大会や本校主催のイベント(手作り作品展や屋上プール開放など)について発信しています。今年度も感染症拡大防止のため、開催中止のお知らせが多くなってしまい残念です。
- ②平日の17時以降と土日の週末に本校の体育館とグラウンドを登録団体に貸し出し、地域住民の健康促進に貢献しています。現在大きく分けて、「地域の文化スポーツ団体(サッカークラブやバレーボールクラブなど11団体)」と「卒業生を主とした団体(バスケットボールクラブやランニングクラブなど5団体)」が使用しています。感染症拡大防止のため、各団体には消毒の徹底や利用者の健康観察のチェックなどの協力をいただいています。また緊急事態宣言下などでは学校施設開放を中止する場合があります。

<b>人材育成・組織運営(働き方)</b>		①メンター研修の自律的取組や年次研取組を継続し専門性向上を図る。②対面式会議と様々なグループウェア会議等を検討内容により適切に使い分けて業務の効率化を図り、学習指導や児童生徒理解に必要な業務時間を確保する。③グラウンドの草刈り、駐車場誘導、プール清掃等の業務の外部委託化を図り、働き方改革を推進する。
担当	教務部	

- ①初任、2年目、3年目の職員を中心にメンターチームを作り、専門性を高めるために年7回の研修をしています。メンター研修とは直属の上司とは異なる職員から助言や指導を受ける研修です。参加者自ら企画、運営する研修(体育の指導やICT機器を活用した授業研究)として大切にしています。また、全教員対象の校内研修会について随時、本校のホームページにてお知らせしています。
- ②3密防止の会議方法として、職員が各教室に分散してタブレット端末を使用したオンライン会議を導入し、有意義で効率的に協議ができるよう工夫しています。PC上でのグループウェアを活用し業務の効率化を図ることで、教材研究や児童生徒理解のための時間を確保しています。
- ③乗用芝刈り機の導入によりここ数年、少人数での作業が可能になりました。草刈り作業や駐車場の誘導業務については今年度、学校教育ボランティアのご協力をいただいております。プール清掃は外部業者に委託できました。今後も職員作業等の短時間化に向け、業務を精選し、働き方改革を推進します。

<b>センター的機能の取組</b>		①横浜型センター的機能として学校支援の充実を図る。地域の小中学校等と連携し、コンサルテーションなどを通して特別支援教育の専門性を広める役割を果たしていく。②地域の関係諸機関との連携を通して、地域における障害児者理解促進や日常生活における充実性の向上に寄与する。
担当	特別支援教育 コーディネーター	

- ①本校では、栄区、戸塚区、泉区の小中学校を中心に学校支援(コンサルテーション、研修会講師など)を行っています。昨年度はコロナ禍ではありましたが、計92回、地域の学校を訪問しました。訪問相談以外にも、電話での相談や出前授業など様々な形で、「子どもたちのより良い支援環境を整えるにはどうすればいいか」について、地域の小中学校の先生方と一緒に考えてきました。今年度も既に多くの学校から依頼をいただき、一般学級、個別支援学級ともに多く訪問しています。その他、個別支援学級の先生方の研究会や児童生徒指導専任の先生方の連絡会、コーディネーター協議会などに参加し、日頃より連携を取りやすい体制を整えています。
- ②上記以外にも、栄区、戸塚区、泉区の自立支援協議会関連の会議、移動情報センター推進会議などに多く参加し、常日頃より情報交換や情報収集を行っています。研修における講師依頼も多く、色々なテーマでお話をさせていただいています。また、市立特別支援学校や県立養護学校のコーディネーター連絡会などにも参加し、情報を常に収集して地域における障害児者理解促進に少しでも貢献できるようにしています。

# 11月、12月の予定

(9/16現在の予定です。今後変更になる場合があります。)



1	火	
2	水	
3	木	文化の日
4	金	特別体重測定 はまっ子読書の日
5	土	
6	日	
7	月	短A ほんごう祭
8	火	短A
9	水	短A
10	木	短A
11	金	短A
12	土	
13	日	
14	月	高短A
15	火	
16	水	登校指導
17	木	歯科検診(中・高)
18	金	ここカラ相談室
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	勤労感謝の日
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	後期個人面談(希望者~12/9) 高3 宿泊学習
29	火	
30	水	

1	木	高等部前期選抜日(高等部休業日) 小5 宿泊学習
2	金	高短A(入学選考会議)
3	土	
4	日	
5	月	高短A 登校指導
6	火	避難訓練
7	水	
8	木	高等部前期選抜合格発表
9	金	ここカラ相談室
10	土	
11	日	
12	月	登校指導
13	火	体脂肪率測定
14	水	
15	木	中1・2 宿泊学習
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	短A
20	火	短A
21	水	短A
22	木	短A
23	金	短A 給食終了
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業(~1/6)
27	火	閉庁期間
28	水	閉庁期間
29	木	休庁日(~1/3)
30	金	休庁日
31	土	

今年度のほんごう祭は、ステージ発表(体育館)、中学部・高等部作業班の作品販売と全学部児童生徒による買い物活動を行います(PTAコーナーは行いません。)

各学年のステージ発表の日程等、詳細につきましては後日配布するお知らせにてご確認ください。